

## 佐賀県景気動向指数

令和8年2月27日  
政策部統計分析課

### 1 令和7年12月の動向

- ◆ 先行指数 **50.0%** …… 6か月振りに50%を上回った後、50%になった。
- ◆ 一致指数 **28.6%** …… 3か月振りに50%を下回った。
- ◆ 遅行指数 **16.7%** …… 2か月連続で50%を下回った。

#### 〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(O)	
<b>《先行系列》</b>  採用系列数 8 拡張系列数 4.0 <b>指数 50.0</b>	新規求人数 鉱工業在庫率(生産財・逆) 企業倒産件数(逆) 銀行貸出残高(☆)	2か月連続 4か月連続 3か月連続 2か月振り	所定外労働時間数 鉱工業生産指数(生産財) 乗用車新車登録台数 新設住宅着工戸数	5か月振り 2か月振り 6か月連続 3か月連続		
<b>《一致系列》</b>  採用系列数 7 拡張系列数 2.0 <b>指数 28.6</b>	鉱工業出荷指数(総合) 着工建築物床面積(産業用)	4か月連続 4か月連続	有効求人倍率(就業地別) 就職率 鉱工業生産指数(総合) 大型店売上高(☆) 輸入総額(唐津港+伊万里港)	11か月連続 3か月連続 3か月振り 2か月振り 2か月連続		
<b>《遅行系列》</b>  採用系列数 6 拡張系列数 1.0 <b>指数 16.7</b>	銀行預貸率	2か月振り	常用雇用指数 雇用保険受給実人員(逆) 陶磁器生産重量(☆) 消費者物価指数(☆) 鉱工業在庫指数(総合)	2か月連続 7か月連続 2か月連続 2か月振り 4か月連続		

(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

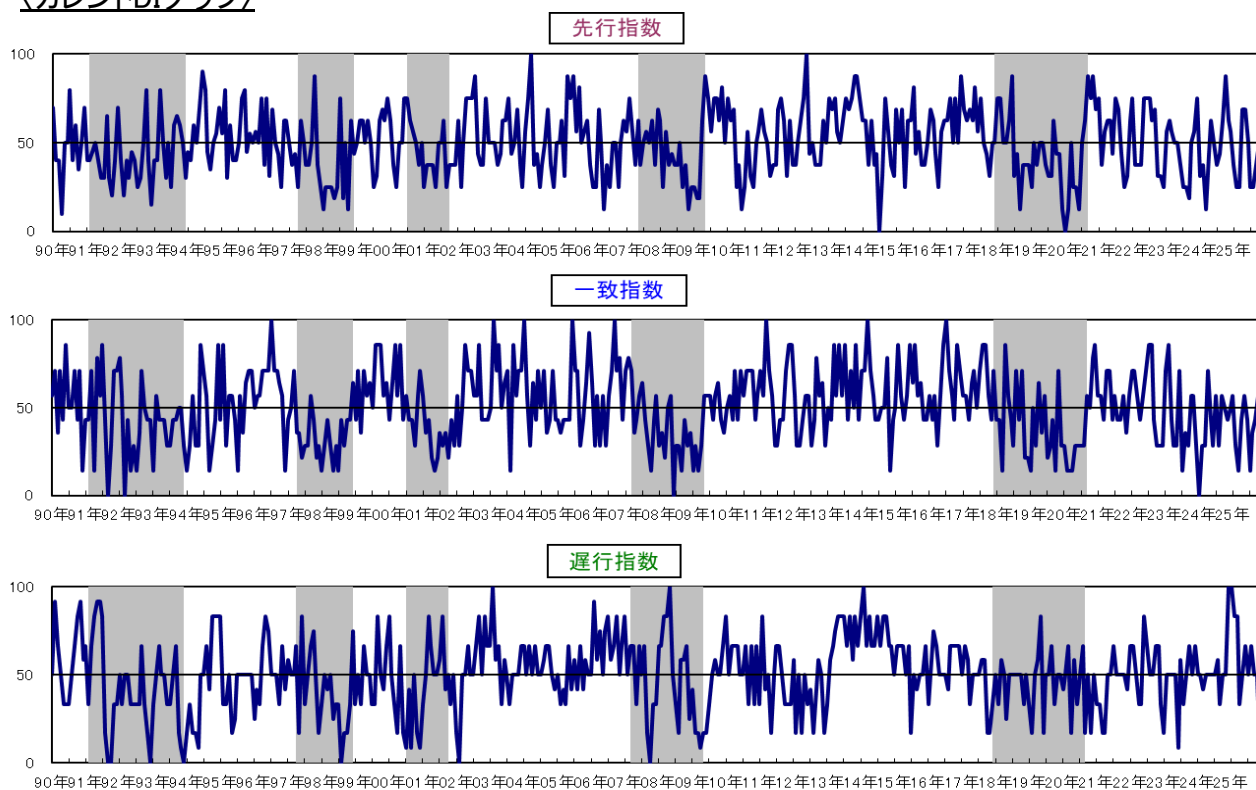
(注)・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

- ・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。
- ・有効求人倍率は、平成17年1月までは「受理地別値」を使用し、平成17年2月以降は「就業地別値」を使用しています(就業地別値は、平成17年2月分からデータが公表されているため)。また、毎年1月分公表時に新季節指数に改定されることから、遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。
- ・令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分から、これらを除外した指標により先行指数を算出しています。なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表値とは数値等が異なります。
- ・令和6年2月分公表から、「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、全系列(先行・一致・遅行)において、変化方向が一部変わっています。
- ・参考値として掲載しているCI一致指数について、令和7年1月分公表から計算基準を更新したため、全期間で遡及して数値を変えています。
- ・令和7年4月分公表から、「陶磁器生産重量」の季節調整をセンサス局法X-12-ARIMAから対前年同月比に変更し、全期間で遡及して数値を変えているため、変化方向が一部変わっています。



### 3 佐賀県のDIグラフ

#### 〈カレントDIグラフ〉



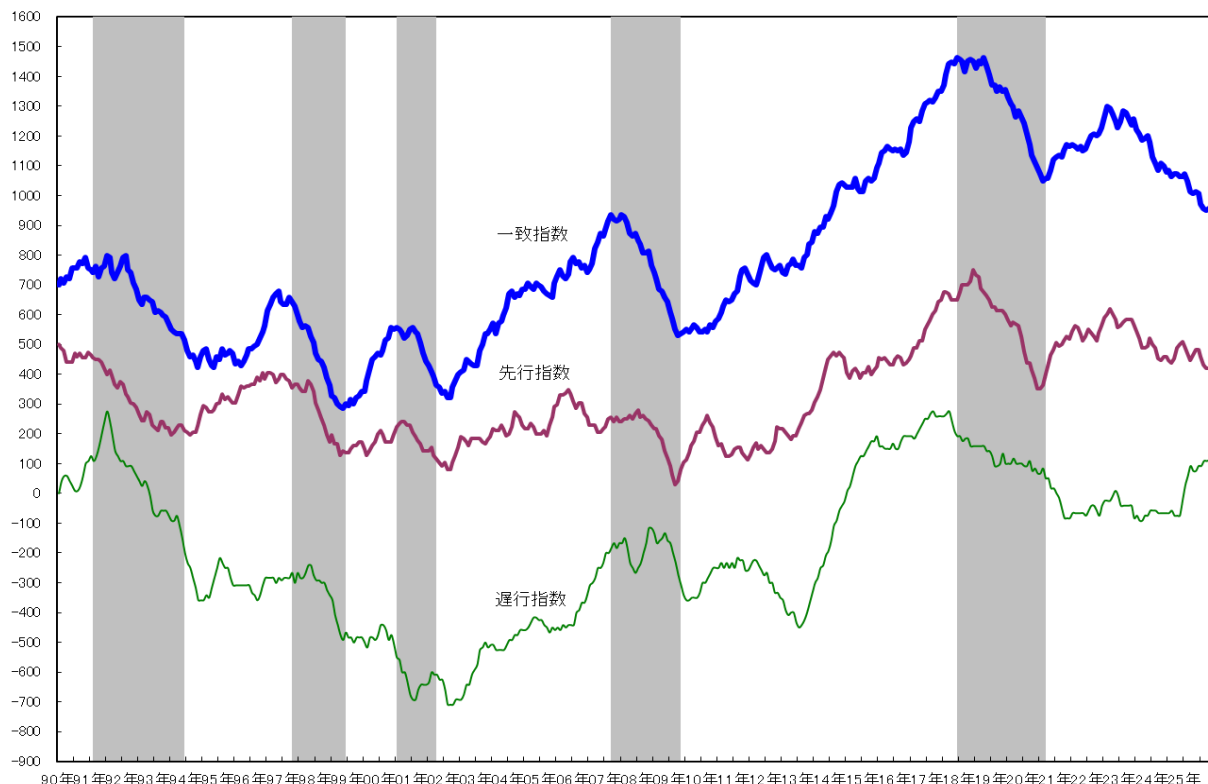
※シャド一部分は景気後退期を示す。

(注) 令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分からこれらを除外した指標により先行指数を算出しています。  
なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表分とはグラフの数値が異なります。

#### 景気動向指数(DI: Diffusion Index)の見方

- ★ DIは、景気の動きを各種の指標によって総合的にとらえようとするもので、各系列で採用指標のうち3か月前と比較して増加している系列(+)が何%を占めているかを表したものです。  
各系列において、指数の計算方法は次式によります。  
指数 = (「+」の指標数 + 0.5 × 保ち合い「0」の指標数) ÷ 当該採用指標数 × 100
- ★ DIには3つの指標があり、それぞれ下記のような特徴があります。
  - 「先行指数」・・・ 景気に対し先行して動き、景気の先行きを予測する。
  - 「一致指数」・・・ 景気に対しほぼ一致して動き、景気の状態を示す。
  - 「遅行指数」・・・ 景気に対し遅れて動き、景気の動きを確認する。
- ★ 一致指数が基調的に50%を上回って推移している時期は景気拡張期、50%を下回って推移している時期は景気後退期と判断します。  
なお、値そのものの大きさは景気変動の大きさないし振幅を示すものではありません。
- ★ DIは不規則な動きをすることが多いので、基調的な動きは累積DIのグラフで見ると分かりやすくなります。

## 〈累積DIグラフ〉



※ シャド一部分は景気後退期を示す。

今月の累積DI = 先月の累積DI + (今月のDI - 50)

※ グラフを見やすくするため、本グラフに限り、先行指数は500、一致指数は700を初期値に加算して表示しています。

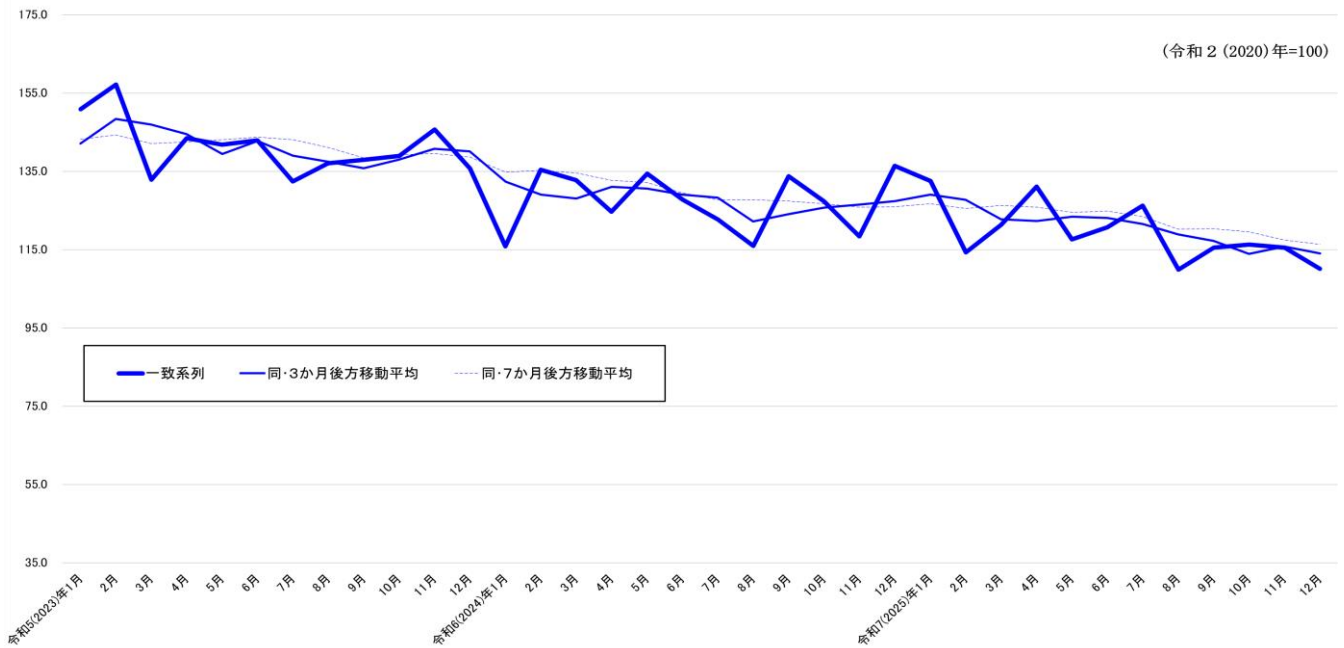
(注) 令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分からこれらを除外した指標により先行指数を算出しています。  
 なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表分とはグラフの数値が異なります。

## 4 佐賀県の景気基準日付

谷	山	谷	期 間		
			拡張	後退	全循環
-	S48(1973)年12月	S50(1975)年5月	-	17か月	-
S50(1975)年5月	S52(1977)年1月	S53(1978)年1月	20か月	12か月	32か月
S53(1978)年1月	S55(1980)年2月	S57(1982)年12月	25か月	34か月	59か月
S57(1982)年12月	S60(1985)年5月	S61(1986)年11月	29か月	18か月	47か月
S61(1986)年11月	H3(1991)年1月	H5(1993)年12月	50か月	35か月	85か月
H5(1993)年12月	H9(1997)年3月	H10(1998)年12月	39か月	21か月	60か月
H10(1998)年12月	H12(2000)年6月	H13(2001)年10月	18か月	16か月	34か月
H13(2001)年10月	H19(2007)年2月	H21(2009)年5月	64か月	27か月	91か月
H21(2009)年5月	H29(2017)年12月	R2(2020)年9月	103か月	33か月	136か月
R2(2020)年9月					

## 【参考】佐賀県のC I\_一致指数の動向

### ①一致指数の推移



### ②一致指数採用系列の寄与度

		令和7(2025)年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
C I_一致指数	前月差(ポイント)	132.5	114.3	121.4	131.1	117.6	120.7	126.2	109.9	115.5	116.3	115.5	110.1
	寄与度	-3.9	-18.2	7.1	9.7	-13.5	3.1	5.5	-16.3	5.6	0.8	-0.8	-5.4
01 有効求人倍率	前月差	0.01	-0.05	0.01	0.01	-0.05	0.01	0.02	-0.05	-0.03	-0.03	-0.01	0.02
	寄与度	1.02	-4.82	0.86	0.82	-5.02	0.67	1.63	-4.81	-2.80	-2.86	-1.00	1.63
02 就職率	前月差	0.2	-0.7	0.1	0.1	0.0	-0.3	0.7	-0.4	-0.2	-0.2	0.0	-0.2
	寄与度	1.66	-4.80	0.86	0.86	0.09	-1.97	5.10	-2.70	-1.27	-1.22	0.16	-1.20
03 鉱工業生産指数(総合)	前月比伸び率(%)	1.3	-7.5	5.1	2.0	-2.0	2.3	-2.6	-3.1	4.5	3.8	-2.5	-2.1
	寄与度	1.43	-5.67	4.47	1.99	-1.81	2.00	-2.41	-2.71	3.71	3.29	-2.09	-1.71
04 鉱工業出荷指数(総合)	前月比伸び率(%)	0.5	-2.5	0.7	2.9	1.2	-1.6	0.1	-5.2	5.6	3.0	1.1	-3.5
	寄与度	0.62	-2.13	0.64	2.56	0.96	-1.42	0.03	-4.56	3.82	2.45	0.91	-2.88
05 大型店売上高(対前年同月比)	前月差	-8.4	-0.8	1.4	1.7	-3.9	0.1	1.0	0.1	-1.5	-0.5	3.3	-4.2
	寄与度	-4.76	-0.45	0.85	1.00	-2.47	0.10	0.65	0.07	-0.88	-0.23	1.95	-2.36
06 着工建築物床面積(産業用)	前月比伸び率(%)	-62.9	-24.1	-16.2	101.6	-14.6	-21.6	28.2	-32.7	94.7	-21.6	-6.6	53.3
	寄与度	-3.96	-1.01	-0.60	2.99	-0.80	-0.85	1.15	-1.36	2.64	-0.78	0.07	1.96
07 輸入総額(唐津+伊万里)	前月比伸び率(%)	0.0	7.7	-0.2	-7.6	-41.3	76.9	-8.2	-2.6	4.0	1.1	-10.3	-9.9
	寄与度	0.06	0.72	0.05	-0.62	-4.45	4.60	-0.68	-0.16	0.35	0.13	-0.83	-0.81
3か月後方移動平均	前月差(ポイント)	129.1	127.7	122.7	122.3	123.4	123.1	121.5	118.9	117.2	113.9	115.8	114.0
	寄与度	1.73	-1.37	-5.00	-0.46	1.10	-0.24	-1.63	-2.57	-1.73	-3.30	1.87	-1.80
7か月後方移動平均	前月差(ポイント)	126.7	125.5	126.3	125.9	124.5	124.9	123.4	120.2	120.3	119.6	117.4	116.3
	寄与度	0.67	-1.20	0.78	-0.38	-1.38	0.33	-1.46	-3.23	0.17	-0.73	-2.22	-1.08